

従うだけです。」それは、あなたがたへの主からの啓蒙であり、また信仰する者への導きであり、慈悲である。」

204.それでクルアーンが読誦される時は、それを謹んで聴き、また静粛にきなさい。恐らくあなたがたは慈悲を受けるであろう。

205.またあなたがたは朝夕、魂を込めて謙虚に、恐れ謹んで、言葉は大声でなく、あなたの主を唱念しなさい。おろそかな者の仲間となつてはならない。

206.本当にあなたの主の側近にいる者は、かれを崇めるのに慢心することなく、かれの栄光を讃えて唱念し、かれにサジダする。〔サジダ〕

SURA 8.戦利品章〔アル・アンファール〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1.かれらは戦利品に就いてあなたに問う。言つてやるがいい。「戦利品はアッラーと使徒のものである。だからアッラーを畏れて、あなたがたの間の諸関係を公正に処理し、あなたがたが信者ならば、アッラーと使徒に従え。」

2.信者は、アッラーのことに話が進んだ時、胸が（畏敬の念で）戦く者たちで、かれらに印が読誦されるのを聞いて信心を深め、主に信頼する者たち、

3.礼拝の務めを守り、われが授けたものを（施しに）使う者たち、

4.これらの者こそ真の信者である。かれらには主の御許にいくつもの段階があり、寛容と栄誉ある給養を与えられる。

5.そのように主は真理のため、あなたをその家から出て行かせられる。だが信者の一部は、それを好まなかった。

6.真理が既に明瞭にされた後でも、かれらはそれに就いてあなたと論議する。それは丁度死を見ていながら、それに向かつて追い立てられるかのように。

7.またアッラーが、（敵の）2つの隊の中、1つはあなたがたのものであろう、と約束された時を思え。その時あなたがたは武装しない一隊が、あなたがたのものであるようにと望んだ。だがアッラーは御自分の御言葉により、真理を真理として立てられ、不信者が、根絶することを望まれる。

8.仮令罪のある者たちが嫌がっても、かれは真理は真理とし、虚偽は虚偽として立証されるためである。

9.あなたがたが主に援助を歎願した時を思いなさい。その時あなたがたに答えられた。「われは、次ぎ次ぎに来る一千の天使であなたがたを助けるであろう。」

10.アッラーは、只これをあなたがたへの吉報となされ、あなたがたの心をそれで安らげられる。勝利はアッラーからだけ（来る）。アッラーは偉力ならびなく英明な御方であられる。

11.その時、かれは平安を与え、あなたがたを微睡で包・、また天から雨を降らせ、それであなたがたを清めて、悪魔の汚れを洗い去り、更にあなたがたの心を引き締めて、あなたがたの足場を、これ（雨）によって固められた。

12.あなたの主が、天使たちに啓示された時を思いなさい。「われはあなたがたと一緒にいるのだ。信仰する者たちを堅固にせよ。」われは不信者たちの心の中に、恐れを染・込ませよう。その時あなたがたはかれらの首を刎ね、またそれぞれの指先を打ち切れ。

13.これは、かれらがアッラーとその使徒に反抗したためである。アッラーとその使徒に反抗する者には、本当にアッラーは痛烈な懲罰を下される。

14.これこそは、（主が行われる）不信者への火刑である。あなたがたはそれを味わえ。

15.信仰する者よ、あなたがたが不信者の進撃に会う時は、決してかれらに背を向けてはならない。

16.その日かれらに背を向ける者は、作戦上または（味方の）軍に合流するための外、必ずアッラーの怒りを被り、その住まいは地獄である。何と悪い帰り所であることよ。

17.あなたがたがかれらを殺したのではない。アッラーが殺したのである。あなたが射った時、あなたが当ったのではなく、アッラーが当てたのである。（これは）かれからの良い試練をもって、信者を試・になられたためである。本当にアッラーは全聴にして、全知であられる。

18.このようにアッラーは、不信者の計略を無力になされる。

19.（不信者よ）もしあなたがたが決定を求めたのならば、その決定はもう来たのである。あなたがたが（不義な事を）止めるなら、それはあなたがたのために最もよい。もしあなたがたが（攻撃を）繰り返すなら、わたしたちも繰り返すであろう。あなたがたの軍勢が仮令多くても、あなたがたにとっては無益であろう。本当にアッラーは、信者たちと共においでになられる。

20.あなたがた信仰する者よ、アッラーとその使徒に従え。（かれの言葉を）聞きながら、かれに背いてはならない。

21.また、「わたしたちは聞いた」といいながら、耳を傾けない者のようであってはならない。

22.本当にアッラーの御許で最悪の罪人とは、（事理を）理解しない聞かない物言わない者である。

23.アッラーがもしかれらに良いところを認められれば、かれは必ずかれらに聞かせられる。だがかれが仮令聞かせられたとしても、かれらは（辞退して）背き去るであろう。

24.信仰する者よ、アッラーと使徒の呼びかけに応えなさい。アッラーが（使徒を通じて）あなたがたを（現世と来世で）生かすために呼びかけたときは。アッラーは、人間とその心の間に入られることを知れ。またあなたがたは、必ずかれに召集されるのである。

25.また試・の災厄に対して、あなたがたの身を守れ。それはあなたがたの中不義を行う者（だけ）に下るものではない。アッラーは懲罰に厳正であることを知れ。

- 26.あなたがたは地上において少数で弱く、虐待されていた時を思いなさい。人びと（マッカの多神教徒たち）があなたがたを、うち滅ぼしてしまうのではないかと恐れた。だがかれは避難所を与えられ、御助けによりあなたがたを強くされ、また種々の清きよいものを与えられた。恐らくあなたがたは、感謝するであろう。
- 27.あなたがた信仰する者よ、アッラーとその使徒を裏切ってはならない。また故意に、あなたがたへの信頼を裏切ってはならない。
- 28.あなたがたの財産と子女とは一つの試みであり、またアッラーはあなたがたへの最高の報奨を持つ方であることを知れ。
- 29.信仰する者よ、もしあなたがたがアッラーを畏れるならば、かれはあなたがたに識別を与え、あなたがたの諸悪を消滅し赦して下される。本当にアッラーは偉大な恩恵の主であられる。
- 30.また不信心者たちが、あなた（ムハンマド）に対し如何に策謀したかを思い起しなさい。あなたを拘禁し、あるいは殺害し、あるいはまた放逐しようとした。かれらは策謀したが、アッラーもまた計略をめぐらせられた。本当にアッラーは最も優れた計略者であられる。
- 31.またわが印がかれらに読誦された時、かれらは言った。「わたしたちは（先に）聞いている。もしわたしたちが望むならば、これらと同じことが言えるであろう。本当にこれは、昔の物語に過ぎない。」
- 32.またかれらがこう言った時を思いなさい。「アッラーよ、もしこれが本当にあなたからの真理であるならば、わたしたちの上に天から石（の雨）を降らせ、またわたしたちに痛ましい懲罰を科して下さい。」
- 33.だがアッラーは、あなたがかれらの中にいる間、懲罰をかれらに下されなかった。またかれらが御赦しを請うている間は、処罰されなかった。
- 34.かれらは聖なるマシジドの管理者でもないのに、（アッラーのしもべを）そこに入れまいと妨げたことに対して、アッラーがかれらを処罰されずにおかない。（真の）管理者は（主に対し）義務を果たす者だけである。だがかれらの多くはそれが分らない。
- 35.（アッラーの）家におけるかれらの礼拝ぶりは、只口笛を吹いて両手で拍手するに過ぎない。あなたがたは不信心であったのだから懲罰を味わえ。
- 36.本当に信じない者たちはアッラーの道から（人びとを）妨げるために、その財資を費やしている。それを費やさせなさい。間もなくそれはかれらの苦悩となり、そのなかれらは征服されよう。これら不信心者は地獄に集められるであろう。
- 37.それはアッラーが、善良な者から邪悪な者を区別されるため、かれは邪悪なものを次々と積り重ね一緒にして、地獄に投げ込まれる。これらの者こそ失敗者である。
- 38.不信心の者に言ってやるがいい。「あなたがたが（信者に対する迫害を）止めるならば、過去のことは赦されよう。」だがかれらがかもし繰り返すなら、昔の先例が既にあるのだ。

- 39.だから、迫害と奸計がなくなるまで、また（かれらの）教えがすべてアッラーを示すまで、かれらと戦え。だがかれらがもし（敵対を）止めるならば、本当にアッラーは、かれらの行うことを御存知であられる。
- 40.かれらがもし背き去るなら、アッラーはあなたがたの守護者であることを知れ。何とよい守護者であり、また何とよい救助者であられることよ。
- 41.戦争で得たどんな物も、5分の1は、アッラーと使徒そして近親、孤児、貧者、そして旅人に属することを知れ。もしあなたがたがアッラーを信じ、また識別の日、両軍が会戦した日に、わがしもべに啓示したものを信じるならば。本当にアッラーは凡てのことに全能であられる。
- 42.あなたがたは川の谷間に近い方におり、かれらはその遠い方において、隊商があなたがたよりも低い（平原）にいた時を思え。この時あなたがたが仮令栗いに（会戦を）約束していても、必ずやその約束に反したてあろう。しかし（予期に反して開戦した）それは、アッラーがなさるべきことを、完遂なされたため。死ぬ者に明証（を見せた）後に死なせ、生き長らえる者も明証によって生き長らえさせるためである。本当にアッラーは全聴にして全知であられる。
- 43.アッラーがあなた（ムハンマド）に、夢でかれら（敵軍）が少数のように見せられた時を思え。もしかれがあなたに対し、かれら（敵軍）を多勢に見せられたならば、あなたがた（信徒）はきっと臆して（あなたの）決定に対し、きっと栗いに論争したてあろう。だがアッラーは（あなたがたを）救われた。本当にかれは（人びとの）胸の中で考えていることを熟知される。
- 44.あなたがたがかれらと遭遇した時、かれはあなたがたの目に（かれらを）小さい集団に見えるようにする。またかれらの目には、あなたがたを劣弱に（映じ）させられた。それはアッラーが、なさるべきことを完遂されたためであった。本当に凡てのことは、アッラーに帰着するのである。
- 45.あなたがた信仰する者よ、（敵の）軍勢と遭遇する時は堅固に持して、専らアッラーを唱念せよ。恐らくあなたがたは勝利を得るであろう。
- 46.あなたがたはアッラーと使徒に従いなさい。そして論争して意気をくじかれ、力を失なってはならない。耐えなさい。アッラーは耐え忍ぶ者と共におられる。
- 47.誇らしげに、人びとに見られるために家を出で、アッラーの道から（人びとを）阻む者のようであってはならない。アッラーはかれらの行うことを凡て知っておられる。
- 48.また悪魔が、かれらの行いを立派であると思わせてこう言った時を思え。「今日は誰も、あなたがたに打勝つことは出来ない。本当にわたしはあなたがたの保護者である。」だが両軍が栗いに会った時、かれは踵を返して言った。「わたしは、本当にあなたがたと関係はない。わたしにはあなたがたに見えないものが見える。わたしは本当にアッラーが恐ろしいのだ。アッラーは処罰に厳重であられる。」
- 49.背信者と心に病のある者たちが、「かれらの教えは、かれらを惑わせた。」と言った時を思い起せ。だがアッラーを信頼する者ならば、本当にアッラーは偉力ならびなく英明であられる。

50.あなた（ムハンマド）はもし天使たちが不信心な者たちの（死にさいし）魂を取る時、その顔や背中を（如何に）打つかを見るならば（どうであろう）。（その時天使たちは言うであろう。）「火炙りの懲罰を味わえ。

51.これはあなたがたの手が先に為したことのためである。本当にアッラーはしもべたちに対し、決して不公正ではない。」

52.（かれらの行いは）フィルアウンの一族や、それ以前の者たちの仕方と同じである。かれらはアッラーの印を信じなかった。それでアッラーはその罪のため、かれらを懲罰された。本当にアッラーは強力で処罰に厳重であられる。

53.それは、アッラーがある民に与えられた恩恵は、かれらが自分を（悪く）変えない限り、決してこれを変えないからである。本当にアッラーは全聴にして全知である。

54.（かれらの行いが）フィルアウンの一族や、その以前の者たちの仕方と同じためである。かれらは主の印を偽りであるとしたので、われはかれらの罪のためにこれを滅ぼし、フィルアウンの一族を溺れさせた。かれらは凡て不義を行う者であった。

55.アッラーの御許で最悪の罪人は、不信心の者である。かれらは信じなかったからである。

56.これらはあなたが約束を結んだ者で、その後かれらは毎度約束を破り、主を畏れない。

57.それでもしあなたがたが、戦いでかれらを打ち破ったならば、かれらとその背後に従う者を追い散らせ。恐らくかれらは反省するであろう。

58.また人びとの中あなたに対し裏切る恐れがあるならば、対等の条件で（盟約を）かれらに返せ。本当にアッラーは裏切る者を愛されない。

59.信じない者に（アッラーを）出し抜けると思わせてはならない。かれらは決して（アッラーを）挫けない。

60.かれらに対して、あなたの出来る限りの（武）力と、多くの繋いだ馬を備えなさい。それによってアッラーの敵、あなたがたの敵に恐怖を与えなさい。かれら以外の者にも、またあなたがたは知らないがアッラーが知っておられる者にも。あなたがたが、アッラーの道のために費やす凡てのものは、十分に返済され、あなたがたは不当に扱われることはないのである。

61.だがかれらがもし和平に傾いたならば、あなたもそれに傾き、アッラーを信頼しなさい。本当にかれは全聴にして全知であられる。

62.仮令かれらがあなたを欺こうとしても、あなたにはアッラーがいれば十分である。かれこそは、その助けにより、また（多くの）信者たちによりあなたを力付けられる方であり、

63.またかれは、かれら（信者）の心を一つに結ばれる。あなたが仮令地上の一切のものを費やしても、あなたはかれらの心を一つに結ぶことは出来ない。だがアッラーはかれらを結合させる。本当にアッラーは偉力ならびなき英明な御方であられる。

64.使徒よ、あなたにはアッラーがいる。また信者の中であなたに従うとがいれば十分である。

- 65.使徒よ、戦いの時は信者を激励しなさい。あなたがたの中20人の信仰の堅い者がいれば、よく2百人を征服するであろう。あなたがたの中もし百人いるならば、よく千人の不信者を征服するであろう。というのはかれらが、事理を解しない人びとであるため。
- 66.今アッラーはあなた（の負担）を軽減された。それはかれが、あなたがたに弱点のあることを知っていたからである。それであなたがたに、もし百人の信仰の堅い者がいれば2百人を征服するであろう。もし千人ならば、アッラーの御許しの下に、2千人を征服するであろう。本当にアッラーは耐え忍ぶものと共においでになられる。
- 67.その地で完全に勝利を取めるまでは、捕虜を捕えることは、使徒にとって相応しくない。あなたがたは現世のはかない幸福を望むが、アッラーは（あなたがたのため）来世を望まれる。アッラーは偉力ならびなく英明であられる。
- 68.もし前以ってアッラーから下された、規則がなかったならば、あなたがたはその受け取ったもののために、必ず厳しい懲罰が下ったことであろう。
- 69.だが（今は）、あなたがたが得た戦利品を、合法でまた清い（もの）として受け、アッラーを畏れよ。本当にアッラーは寛容にして慈悲深くあられる。
- 70.使徒よ、あなたがたの手中にある捕虜たちに言ってやるがいい。「もしアッラーが、あなたがたの心の中に何か良いものがあることを認められれば、あなたがたが没収されたものよりも優れたものを与え、またあなたがたを赦される。アッラーは寛容にして慈悲深くあられる。」
- 71.だがかれらがもしあなたを裏切ろうとするならば、いや、かれらは以前からアッラーを裏切っていたので、かれは（あなたに）かれらを制圧させる。アッラーは全知にして英明であられる。
- 72.本当に信仰して移住した者たち、財産と生命を捧げて、アッラーの道のため奮闘努力〔ジハード〕した者たち、またかれらに避難所を提供して援助した者たち、これらの者は栗いに友である。また信仰した者でも、移住しなかった者については、かれらが移住するまであなたがたは保護する義務はない。只し、かれらがもし宗教（上のこと）であなたがたに救援を求めるならば、あなたがたと盟約のある間柄の民に逆らわない限り、これを助けるのはあなたがたの義務である。アッラーはあなたがたの行うことを御存知であられる。
- 73.信じない者たちも栗いに守護しあっている。あなたがたがそうしないならば、地上の治安は乱れて大変な退廃が起ころう。
- 74.信仰して移住した者たち、アッラーの道のために奮闘努力した者たち、またかれらに避難所を提供して援助した者たち、これらの者は等しく真の信者である。かれらに対しては、寛容と榮譽ある御恵・があろう。
- 75.遅れて信仰に入り、移住してあなたがたと共に奮闘努力した者たちは、あなたがたの仲間である。また血縁関係による近親者は、アッラーの定めにより、栗いに一段と近いのである。本当にアッラーは凡てのことを知り尽くされる。